

自然科学研究機構国立天文台
年俸制職員(アルマプロジェクト 特任専門員
: 解析ソフトウェアおよび解析システム) 公募

【募集職種】 年俸制職員(特任専門員)1名

【所属】 アルマプロジェクト

【勤務地】 東京都三鷹市大沢2-21-1

【業務内容】

- アルマ望遠鏡用単一鏡データ解析ソフトウェア・パイプラインの開発
- 天文データ解析用のアルゴリズムの開発
- データ解析用計算機環境の構築・運用

【雇用期間】

令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日 ※1

試用期間: 6か月

※1 契約期間満了年度に、契約期間満了時の業務量、従事している業務の進捗状況、職員の勤務能力・勤務成績・勤務態度、機構の財務状況を踏まえて、契約を更新することがあります。 ※2

※2 但し、2013年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、2013年4月1日以降の通算雇用期間の上限が10年間までの契約となります。

【応募資格】

上記業務に必要な知識と経験を有し、以下の項目(1-2)を満たすこと。

1. プログラミング言語Pythonに堪能なこと。
2. ソフトウェア関連英文文書の読み書きや簡単な英会話が可能なこと。

必須ではないがあれば優遇される知識・技能・経験は以下(A-G)の通りである。

- A. マルチコアやクラスター環境を利用した並列処理プログラムの経験がある。
- B. 天文学の素養や天文データ解析の経験がある。
- C. 数学で修士以上の学位を有する。
- D. ネットワーク、分散計算機環境、UNIX系計算機の管理経験がある。
- E. チームでソフトウェア開発をおこなった経験がある。
- F. Linux上でのソフトウェア開発に習熟している。
- G. プログラミング言語C++に習熟している。

【勤務形態】

週5日(月~金勤務。土・日・祝日、年末年始(12/29~翌年1/3)は休日)

始業時刻 8:30~終業時刻 17:15(休憩60分、週あたり38.75時間勤務)

【待遇】

給与は年俸制。概ね500万円~700万円

- ・職務内容、実績、経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給
- ・年度毎に業績評価を行い給与の見直しを行います。

通勤手当支給(上限55,000円/月)

文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

有給休暇(年次休暇、夏季休暇、忌引等)あり

託児施設あり(生後57日~) ※ただし、状況によっては利用できない場合もあります。

※手当は自然科学研究機構の規程による。

【選考方法】 書類選考及び面接による選考

【提出書類】

1. 履歴書(写真貼付)、職務経歴書
2. ソフトウェア開発や計算機に関するこれまでの経験・実績を含め、抱負をまとめた文章(A4で2頁程度)。また、【応募資格】の中で、どの項目にどの程度当てはまるか、英検、TOEIC等の英語力を評価する試験を受験していれば、その結果を明記してください。
3. できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(Email アドレス、電話番号)

【応募締切】 2019年12月26日(木)日本時間正午まで応募を受付。都度選考を行い採用枠が埋まり次第終了。

【提出先】 国立天文台 アルマプロジェクト アルバロ ゴンサレス

(メール) E-mail : alma-yuki-application_AT_ nao. ac. jp

上記提出書類をPDFに変換し、送付してください。

応募時の注意点:

- ・上記メールアドレスの“_AT_”を@に置き換えて送信してください。(以下、同様)
- ・メールタイトルに「特任専門員(解析ソフトウェアおよび解析システム)応募」と明記ください。

- ・一度に添付するファイルのサイズは10MB以内としてください。
- ・応募書類受理の後、祝休日を除き3日以内に受領確認のメールを送ります。メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問合せ先】

(応募に関する内容)

国立天文台 事務部総務課人事係

TEL : 0422-34-4014

E-mail : apply-job_AT_ao.ac.jp

(職務内容に関する内容)

国立天文台 アルマプロジェクト 小杉 城治

E-mail : george.kosugi_AT_ao.ac.jp

【注意事項】

- ・ 応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用致しません。選考後、採用者以外の応募書類は責任を持って破棄します。
- ・ 面接に要する費用（交通費等）は応募者の自己負担となります。

【備 考】

- ・ 本職は日本育英会奨学金返還免除職非該当です。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは、<http://open-info.ao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。